

はじめに



今、地方自治体は少子・高齢化、高度情報化や地方分権の進展、環境問題への対応等、大きな変革の時代を迎えており、さらなる自立と未来を切り開く創造力が求められております。これからのまちづくりは、将来をしっかりと見据えたビジョンと目標を持って対応することが必要です。

このような大きな変革の時代にあって、魅力と活力に満ちた住みよい宮古島市を創造していくため、今後10年間のまちづくりの指針となる「第1次宮古島市総合計画」を策定いたしました。

この計画では、合併時に策定された「新しい島づくり計画」の理念を踏まえ、まちづくりの基本理念を「健康」「活力」「結い」のキーワードで示し、「心つなぐ結いの島 宮古」を目指すべき将来像として掲げております。活力あるまちづくりは地域社会を構成する人、まち、自然がともに健康であることから始まります。それらを基盤として、本市の優れた特性を活かし、ともに支え合い、ともに生きる「結い」の精神を大切にしながら、他地域との幅広い交流を通して活力あるまち、未来を創造していくまちづくりを目指しています。

今後は、本計画を広く市民の皆様にご周知し、まちづくりへの市民参画を進めるとともに、計画に掲げる諸施策を着実かつ効果的に実施することで、本市の将来像の実現に向け全力で取り組んで参ります。

結びに本計画の策定にあたり、熱心にご審議いただきました宮古島市総合計画審議会及び地域審議会各委員、市民意識調査などに対して、貴重なご意見、ご提言を賜りました市民の皆様にご心からお礼申し上げます。

2008年（平成20年）3月

宮古島市長 伊志嶺 亮